



野登小学校
 学校だより
 2021.10.20
 No.12

2年ぶりに全国学力・学習状況調査（6年生対象）が実施されました。例年は4月に実施していますが、今年度は、昨年のコロナ禍の影響で5月27日に行われ、8月下旬に結果が公表されました。この結果だけで子どもたちの学力が図れるものではありません。しかし、一つの参考資料として、本校の強みや弱みを知り、子どもたちの学力をさらに伸ばし生きる力につなげる取り組みを進めていきたいと、研修会で結果分析を行いました。特に、子どもたちが苦手になっている分野や領域について検討し、今後の指導について全員で話し合いました。

2021年度全国学力・学習状況調査結果より

< 国語平均正答率 >

国 語	平均正答率
本 校	73
亀山市	66
三重県	64.1
全 国	64.7

	話す・聞く	書く	読む
本 校	70.2	81.6	52.6
三重県	76.3	58.8	44.1
全 国	77.8	60.7	47.2

< 算数平均正答率 >

算 数	平均正答率
本 校	74
亀山市	68
三重県	69.3
全 国	70.2

	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
本 校	68.4	56.1	80.7	80.7	82.1
三重県	62.3	54.6	74.1	74.8	76.3
全 国	63.1	57.9	74.8	75.9	76.0

全体としては、全国平均を大きく上回り、全体的に正答率が高く、無解答率が低くなっています。このことから一人一人が時間いっぱい粘り強く取り組んでいたことがうかがわれます。ただ、本校は児童数が少なく、平均との比較ではなく、それぞれの分野や領域に目を向け、平均を下回っていた設問だけでなく、正答率が低かった設問に目を向け、分析を行い、それぞれの学年でどんな取り組みをしていくかを考えました。

< 国語 >

目的や意図に応じ、資料を使って話すこと、話し手の意図をとらえること、文章と図表を結びつけて必要な情報を見つけて読むことに課題があります。文章から必要な情報を見つけることはでき

るのですが、図から必要な情報を見つけたり、見つけた情報を言葉にしたりすることが苦手です。また、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することに課題があります。具体的には、裏面に正答率の低かった問題をのせましたが、大半の児童が制限字数で文章をまとめることができていますが、与えられた複数の条件のうち一つに着目した記述になっています。与えられた条件をしっかりと読み取る必要があります。

今後の取り組みとして、「説明文では文章中に用いられている図表等が文章のどの部分と結びつくのか意識化した読み取りをしていく」「目的に応じて文章全体から必要な部分を選び、内容を説明できるようにする」「目的や意図に応じて、聞き手を意識し、わかりやすい表現をさせる」など、学年に応じて活動を取り入れていきます。また、『積』の漢字の正答率が悪かったことから、間違えやすい漢字を意識させるとともに、低学年から、漢字を使って文や文章を書く機会を多く取り入れていきます。

< 算数 >

平行四辺形の高さを求める式や言葉の記述ができず、示された図から情報を取り出して、説明することができなかったり、平行四辺形や三角形の面積を求める公式の理解が不十分だったりなど、図形の問題に課題が多くみられました。また、商が1より小さくなる（整数）÷（整数）では、被除数（割られる数）の方が大きくなると考えたり、速さの問題では数値が小さいほうが速いと捉えたり、それぞれの意味を十分に理解していない児童も見られました。

普段の授業で児童にやり方や理由等を説明させる場面が少なかったのではないかと気づきました。公式をきちんと覚えさせることも大切ですが、公式を導き出す過程を大切にし、どう考え、どのように解いたのか、なぜこのような公式になったのか等、自分の言葉で説明する活動を大切にしようとして確認しました。

< 児童質問紙 >

本校児童は、「家庭での読書時間が長い」「地域行事への参加意欲が高い」「友達との協力への意識が高い」「ICT 機器への意欲が高い」「規則正しい生活が送れている」など、非常に良い点がたくさんあります。特に「家庭での読書時間が長い」は、本校が取り組みを強化している読書活動の成果でもあると感じています。また、「地域行事への参加意欲が高い」については、現在はコロナ禍で地域行事が中止や縮小となることが多いですが、地域の皆様が地域の子どもたちに様々な場面で大きくかかわっていただいている成果だと感じています。

その反面、「テレビゲームの時間が長い」「家庭で計画的に勉強していない」など、課題もあります。以前からゲーム時間等が長いのが課題でしたが、全国的にコロナ禍で時間が増えているようです。また、学調の結果からは算数もよく理解していることがうかがわれますが、算数に苦手意識を持っている児童も多いようです。

4月に「家庭学習のすすめ」を配布し、本年度「ノーゲーム・ノースマホデー」の取り組みの継続を決めました。今後も、家庭と連携して学習習慣の取り組みを進めていきたいと思っております。